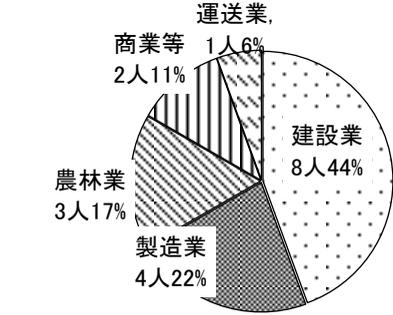


平成28年における死亡災害発生状況

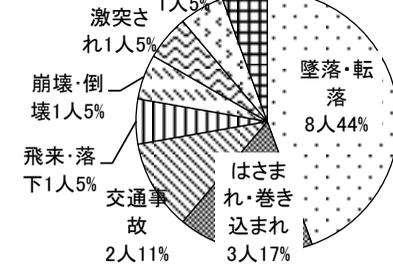
[別添4]

岐阜局管内における労働災害発生件数ですが、平成28年においては3年ぶりに増加に転じました。また、死亡災害は18件発生し近年は増減を繰り返す状況となっています。災害発生の背景に潜む危険・有害要因をなくし、安心して働くことが出来る職場作りをめざして“危険の芽”を摘み取るためにリスクアセスメントの実施をお願いします。

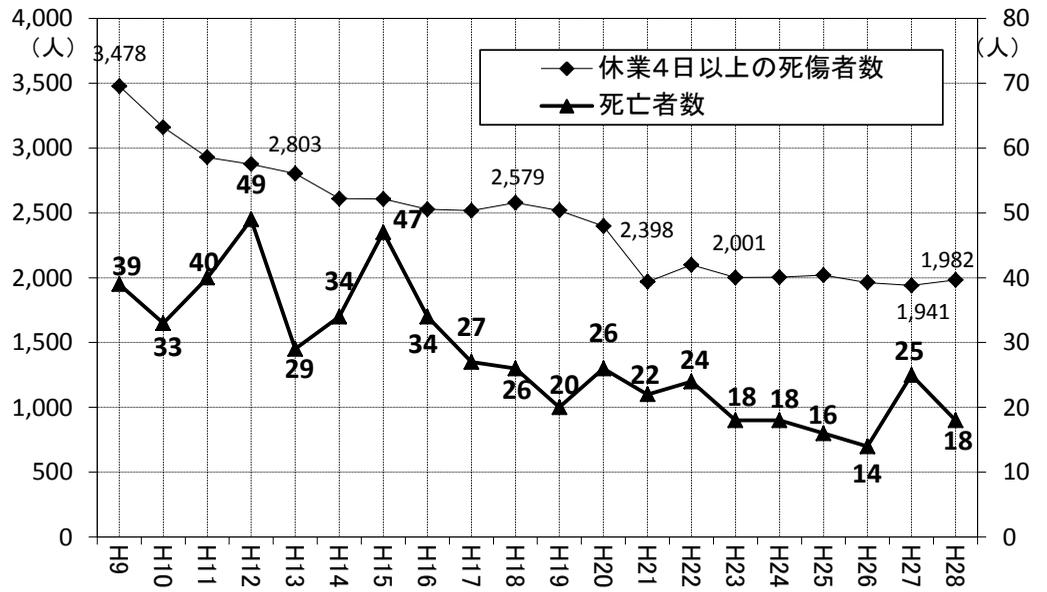
業種別災害発生状況



事故の型別災害発生状況

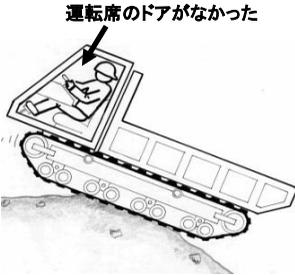
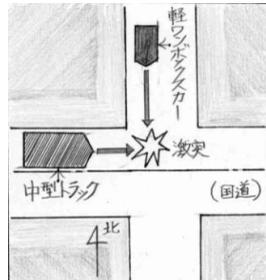
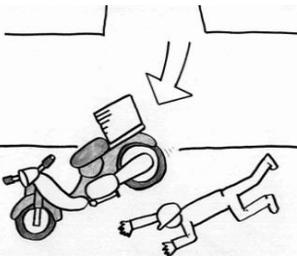


岐阜県における20年間の災害発生状況の推移



業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
建設業	男性	作業員	30代	トンネル新設工事において、坑口から約200mのトンネル先端の切羽部で鋼製アーチ支保工を設置する位置等の確認のため、発破後の切羽に近づいたところ、切羽左上半の側面部から落石があり、その下敷きになったもの。 同種災害を防止するための対策例 ・切羽に近づく必要があるときは、崩壊防止措置を確実に講じた後に行うこと。		崩壊、倒壊	地山、岩石
	男性	建設機械運転者	30代	ボーリングマシンのシリンダー部から油漏れが発生したため、被災者が機械の下に入って1人で修理をしていた。チェックバルブを外したところシリンダー内の油圧が低下したため本体が降下し、ベース架台との間に頭部と右肩部を挟まれたもの。 同種災害を防止するための対策例 ・作業を行う時は、原則機械の可動範囲内に労働者を立ち入らせないこと。また、可動範囲内に入る必要がある時は、適正な安全装置を使用する等の措置を講じること。		はさまれ、巻き込まれ	その他の建設機械等
	男性	塗装工	40代	塗料の飛散防止に係るビニール養生中、被災者がくさび式足場の根がらみ単管とソーラーパネルの鉄骨フレームに両足を掛けて作業をしていたところ、約10m下のアスファルト路面に墜落した。 同種災害を防止するための対策例 ・足場の外側において、養生や清掃等、墜落のおそれがある箇所では作業を行う際は、防網を設け、安全帯を使用すること。		墜落、転落	建築物、構築物
	男性	作業員	60代	ビルの解体工事中、屋上のコンクリートガラ、鉄骨、鉄筋等の廃材を落とすために設けられた開口部からコンクリートガラの回収作業を行っていた被災者が約11m下に転落した。開口部の周囲には墜落防止のための手すり等は設けられていなかった。 同種災害を防止するための対策例 ・開口部付近で作業を行う場合は、囲いや手すり等を設け、墜落防止措置を行うこと。なお、囲い等が設けられない場合は、親綱を張り、安全帯を使用させること。		墜落、転落	開口部

業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
建設業	その他の建築工事業	男性 解体工	60代	<p>2階鉄骨造りの車庫兼倉庫の解体工事にて、2階の床材、垂木の撤去作業を終え、被災者は根太を取り除くために根太とH鋼を固定しているアングル部の釘をハンマー、バールを使用し抜き終わったところ、被災者は根太及びH鋼の開口部から約2.8m下の1階のコンクリート床面に墜落した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 解体工事のように刻一刻と現場の状況が変化する現場においては、労働者の危険感受性を高めるための実効ある教育を行うこと。 		墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
	その他の建築工事業	男性 塗装工	70代	<p>被災者はホテルの外壁のクラックをモルタルで埋める作業を行っていた。建物に付いていた金具に、足をかけて作業していたところ、金具がはずれ、高さ約4.5mの高さから墜落したものの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の形状のあった適切な足場を設置すること。 足場の設置が困難な場合はほかの墜落防止措置を講じること。 		墜落・転落	建設物・構築物
	電気通信工事業	男性 作業員	40代	<p>被災者は鉄塔の地上から高さ34mの位置にあるプラットフォームの外側で、新たなケーブルの設置作業を行っていたところ、地上に墜落した。墜落防止のため胴綱と移動ロープの2つを装着していたが、墜落時、胴綱は使用されておらず、移動ロープも使用していなかった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 高所作業においては適切な安全帯を装着し、恒常的に墜落防止措置が講じられた状況で作業を行わせること。 		墜落・転落	建設物・構築物
	建築設備工事業	男性 作業員	20代	<p>マンションの建設工事において、10階壁の配筋作業中、鉄筋組立業者がクライミングクレーンを用いて廃材を地上まで下ろしていたところ、高さ約30mの位置で鉄筋(長さ45cm、直径35mm)がワイヤーモックから落下し、地上で内装設備の搬入作業を行っていた被災者の頭部に激突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 玉かけ用具は、運搬する荷の形状に合ったものを選択すること。 クレーンの旋回範囲内に、吊り荷等が接触するおそれのあるものを設置しないこと。 		飛来、落下	クレーン
製造業	プラスチック製品製造業	男性 運転者	40代	<p>プラスチックのリサイクル工場で、投入コンベアの上から粉碎機内の材料を確認中、誤って稼働中(回転中)の粉碎機に転落し、全身が機械に巻き込まれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 粉碎機の開口部から粉碎機内部に転落するおそれのあるときは、蓋、囲い、柵等を設置すること 		はさまれ・巻き込まれ	混合器・粉碎機
	機械器具製造業	男性 作業員	60代	<p>旋盤を用いて、長さ約2mの鋼管を1500rpmで回転させ、スポンジ研磨材で表面を研磨する作業を行っていたところ、突然鋼管が折損し、右顔面に激突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 旋盤にワークをセットするときは、重心や回転軸が偏芯しないように確実に装着すること。 	<p>鋼管は片一方が固定され、1.4m程張り出していた</p>	激突され	旋盤
	機械器具製造業	男性 作業員	60代	<p>フォークリフトのフォークの上に乗って、高さ4メートルの梁に固定されたブルーシートを外す作業をしていたところ、約2メートルの高さから床に墜落して頭を強打したものの。墜落防止対策は講じられておらず、被災者は保護帽を被っていないかった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> フォークリフトを作業床や昇降設備として使用しないこと。また、フォークリフトの搭乗席以外の箇所に労働者を乗せないこと。 	<p>ブルーシート</p>	墜落・転落	フォークリフト

業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
製造業	男性	作業員	40代	マシニングセンタの検査において異音を確認されたため、マシニングセンタ正面の操作盤で労働者1名が機械を動作させ、マシニングセンタ背面側で被災者が異音の発生場所等を調べていたところ、背面側内部で動作する機械と本体カバーとの間に被災者が挟まれたもの。	<p>操作者は機械の反対側で作業しており、死角での作業であった</p> 	はさまれ、巻き込まれ	旋盤
				同種災害を防止するための対策例 ・共同作業を行う場合において機械を動作させるときは、機械との接触防止対策や機械運転時の合図を確実にすること。			
運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	被災者は宅配便配達業務に従事しており、被災当日17時頃に一旦事業場にもどり、再び配達に出たところ、単独事故を起こした。被災日以前2か月の時間外労働時間の平均が80時間以上で心筋梗塞を発症したものの。		その他	その他の起因物
				同種災害を防止するための対策例 ・長時間労働を行う者について、医師における面接指導を行い、医師からの意見聴取を行い、長時間労働削減等の必要な措置を講ずること。			
農林・水産業	男性	造園工	60代	小学校南側の敷居境界にある樹木の枝打ちをするため、敷地外の道路上において被災者が高さ約3mの脚立に登り、枝をのこぎりで切っていたところ、道路上に仰向けで転落した。作業を見ていた者がいないため推測であるが、脚立奥側の支柱が滑り、脚立が倒れたことが原因と思われる。	 <p>三脚脚立から墜落</p>	墜落・転落	はしご等
				同種災害を防止するための対策例 ・高所作業においては適切な墜落防止対策を講ずること(足場の設置・高所作業車の利用等)。 ・脚立の足部が滑らないよう、設置状況等に留意すること。			
				同種災害を防止するための対策例 ・作業道の状況等を事前に調査した上で、安全に運行できる経路を決定するとともに、作業手順を順守させること。			
農林・水産業	男性	作業員	40代	林業現場において、伐木後の端材の運搬作業を行っていた被災者が、不整地運搬車を運転し作業道を後進していたところ、運転操作を誤り路肩から2m転落、横転し、その弾みで車外に投げ出され、根株に顔面を強打したものの。	<p>運転席のドアがなかった</p> 	墜落、転落	不整地運搬車
				同種災害を防止するための対策例 ・作業道の状況等を事前に調査した上で、安全に運行できる経路を決定するとともに、作業手順を順守させること。			
水産業	男性	その他の運転者	70代	鵜飼終了後、鵜飼中に逃げ出した鵜を探していたところ、上流の川面にいる鵜を発見したため、鵜舟の船頭である被災者が川に入り捕まえようとしたところ行方不明になった。その2日後に川底に沈んでいる被災者が発見された。		おぼれ	水
				同種災害を防止するための対策例 ・舟等の上から労働者が水中に転落することにより溺れるおそれがあるときは、労働者に救命胴衣等を着用させること。			
その他	男性	営業・販売関連事務員	40代	被災者が、事業場所有の軽ワンボックス車を運転して工事現場に営業で向かう途中、信号のない国道の交差点を横断しようとする南進した際、東進して来た中型トラックと衝突した。		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
				同種災害を防止するための対策例 ・道路へ出る場合は、手前で一旦停止し、左右確認を十分に行ったうえで進行すること。 ・交通労働災害防止の安全教育を実施する。			
その他	男性	運転者	70代	朝刊をバイクで配達中、道路から約1m下の田にバイクとともに落ち、うつぶせ状態で倒れているのを通行人が発見されたもの。T字路を曲がろうとしてバイクのハンドル操作を誤ったものと推測される。		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
				同種災害を防止するための対策例 ・労働者の年齢や技量に配慮した安全教育を定期的実施すること。			

リスクアセスメントを活用し、安心して働ける職場作りを

従来の労働災害防止対策は、発生した労働災害の原因を調査し、類似災害の再発防止対策を確立して各職場に徹底していくというやり方が基本でしたが、災害が発生していない職場であっても作業の潜在的な危険性や有害性は存在しており、これが放置されるといつかは労働災害が発生するといった危険性を残すこととなります。

こうした考え方から脱却し、積極的に職場に潜む潜在的な危険性や有害性を見つけ出し、事前に的確な安全衛生対策を講じることが必要であり、これに応えたのがリスクアセスメントです。

リスクアセスメントとは、職場における労働災害(健康障害を含む)の発生危険の度合いを「リスク」としてとらえ、職場に潜在する危険性ごとにリスクの大きさを見積もり評価して、労働者保護の観点から容認できないものを具体的に明らかにし、労働災害防止対策の優先順位を定め実施していくようにするための手法具体的な実施方法は次のとおりです。

① 危険有害性の洗い出し

作業の工程ごとに、すべての作業を対象に危険性・有害性を洗い出し、発生のおそれのある災害を特定します。そのためには、ヒヤリハット事例の収集・職場パトロール・聞き取り調査などを行い、職場の実態を正しく把握することが必要です。



側面から手指が入り金型にはさまれる

※見直し、さらに改善へ

② リスクの見積もり

危険性又は有害性と発生のおそれのある災害ごとにリスクを見積もり、リスクレベルを評価します。その際のポイントは「災害の可能性、頻度、重大性で評価すること」「現状の対策のレベルを厳しく評価すること」「評価は複数で厳しくすること」です。



重度の害発生の可能性あり!

安全装置の安全距離の確認と両側・後面への安全囲い設置を!

どうても受け入れられない

④ リスクの低減対策の検討・実施

優先度の高いものから順に、「具体的にどのようなリスク低減対策が考えられるか」「実施した場合どの程度リスクが低減されるか」を検討し、実施します。

③ 対策の優先度の設定

リスクの見積もりにより「直ちにリスク低減措置を講ずる必要があるもの」「必要に応じてリスク低減を実施する必要があるもの」「当面低減対策を要しないもの」を明らかにし、対策の優先度を決定します。

リスクアセスメントの手法を用いた労働安全衛生マネジメントシステムについては、中央労働災害防止協会のホームページ(以下、HP)(<http://www.jisha.or.jp/>)をご覧ください。

その他災害防止に関する資料は、厚生労働省HP(<http://www.mhlw.go.jp/>)、岐阜労働局HP(<http://www.gihu-roudoukyoku.go.jp/index.htm>)をご覧ください。

